

Vol.90

ふーどりんく

食を介し、健康を創る

F&D

仕事を通して つなげる絆

株式会社日本フードリンク広報誌 2024.01

2024 新年のご挨拶

先ず、新年に石川県能登地域で発生した地震、羽田空港で発生した航空機事故と心の痛む災害や事故が起きました。被災された皆様や事故に遭われた皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々とそのご家族、ご親族の皆様に心からの哀悼の意を表します。



代表取締役 齋藤 正樹

本県においても地震の影響は大きく、年明け早々から断水・エレベーターが使えないことにより病院、施設スタッフの皆様と協力しながら対応頂いたとのお話を聞いております。さらには行政からの要請を受けセントラルキッチンでは避難所向けに土日祝日も含めた3食の配送提供も行い続けております。あわせてこのような不測の事態においても食事提供を完遂したことに対し、お客様からも感謝の言葉を頂いております。こうした災害のたびに、改めて我々のサービスが社会のインフラの一つであること、働く皆さんがエッセンシャルワーカーであることを痛感させられます。社員の皆様にはこの場を借りて、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、話は変わりますが今年2024年は昭和に換算すると99年との事だそうです。「昭和の時代」に作られた沢山の仕組みや文化、それらはもう100年近くが経過し、さすがにもう通用しなくなってきました。すでに身の回りでも変化は起きておりますが、今後は加速度的にスピードが増していきます。それだけインパクトの強い変革が必要だと感じております。

そうした世の中の変化のスピードに対応するには、とにかく何においても「シンプル化」が必要だと考えております。今回のような自然災害、そしてウイルス感染症、そして人手不足の中でも止まることなく機能する仕組みを作り上げていくには、シンプル化が必要不可欠です。シンプルさはスピードを生みます。わかりやすさを生みます。その過程で我々が進化すべき課題が浮き彫りになり、行動すべきことがハッキリと具体化します。

今の時代は、様々な変化、進化を受け入れやすい環境が整っていると感じており、つまり変化にチャレンジできる大きなチャンスだと思っております。

今年の干支「辰年」は天に向かって上昇していく象徴でもあります。逆境を糧に強い気持ちを持って大きく上昇する年とするよう共に協力してまいりましょう。

新潟市災害時応援協定 セントラルキッチン 避難所へのお弁当提供



元旦に発生した令和6年能登半島地震は新潟県にも大きな爪痕を残し、特に新潟市西区は液状化により多くの家屋が被害を受け、中には今でも避難を余儀なくされている方たちがいらっしゃいます。

今回の震災を受け、新潟市と日本フードリンク間で結ばれている災害協定に基づき同市より応援要請があり、1/6よりセントラルキッチンから避難者向けにお弁当の提供をおこなっています。



1/20 現在、西区坂井輪コミュニティセンター・同黒崎市民会館に避難されている16名の皆様に対し、朝昼夕の3食を毎食お届けしており、製造・配送の指揮を執る学校給食事業部長の加藤は「困ったときは助け合うことが大事、避難者の方々が少しでも笑顔になれるようにセントラルキッチン内の部門一丸となっておいしいお弁当を作っています」と話していました。



お弁当の提供は2月に入っても引き続きおこなわれる予定です。一刻も早く避難者、被災者の皆さんの生活が元に戻るように願っております。

各給食室から 11月～年始行事食などのご紹介です

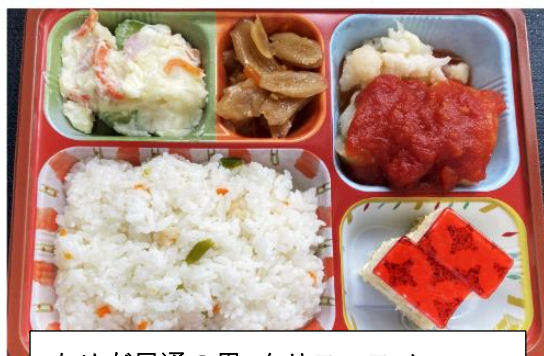
ひだまりこども園 イルミネーション



開志国際高校 クリスマスイベント



遊生の町 新年祈願祭



かめた早通の里 クリスマスメニュー

遊生の里 そば打ち行事



フォローアップ研修

令和5年4月に新卒として入社した社員向けに入社後半年の「フォローアップ研修」を開催いたしました。

計16名が参加し、4グループに分かれてグループワークを中心に行いました。久々の同期との再会に笑顔も溢れる有意義な研修になりました。

研修の中では給食室でこんなことが起こったらどうする？を考えるケーススタディではグループ内で自分たちだったらどうする？を話し合い、その後オブザーバーであるマネージャー、部長から対処法を学びました。そして、目標の立て方や振り返りの方法を学び、3月末までの具体的な目標ができたことで参加者が前向きな気持ちになりました。

研修内容

- ・訓話…管理本部 大宮部長
- ・職場でのコミュニケーション…報連相、マジックフレーズ
- ・メンタルヘルスについて
- ・ケーススタディ…業務の中でのこんな時どうする？
- ・業務振り返り…PDCA サイクル、自身の振り返り・目標設定



栄養管理部から献立のご紹介

今回は給食室で提供した旬の食材を用いた献立をご紹介します。

今回は12月～1月に提供した献立のご紹介です。

◆クリスマス◆ 新潟市秋葉区高齢者福祉施設にて提供したメニュー



クリスマスには施設様のご要望を受けて、てまり寿司や手作りケーキの提供を実施しました。手作りケーキは初めての提供でしたが大変好評をいただきました。

◆年末◆ 新潟市北区児童養護施設にて提供したメニュー



11月～4月で提供可能になる生魚。大みそかということで、ごはん、そうめん入りすまし汁お刺身、ヒレカツ、みかんと豪華な内容で提供しました。

◆1月◆ 新潟市北区児童養護施設にて提供したメニュー



韓国風混ぜ込みご飯であるチュモッパ風ごはんの提供を行いました。子供が自ら握れるよう、食育の観点も盛り込んだ内容にしました。

◆番外編(人気メニュー)◆ 新潟市北区児童養護施設にて提供したメニュー



ツサント & フルツサント



チーズハンバーグ



ミックスフライ

12月、1月はクリスマスから年末年始とイベントが多くあり、厨房の皆様にもたくさん協力いただき、食事提供を行いました。暗いニュースからスタートの2024年でしたが、利用者様のおいしいの笑顔のために引き続き、喜ばれる食事提供をして参ります。

2024年 グループ合同初詣

1月4日、衣食住の神、漁業や水の神、防火・消防の神などとして尊宗されている新潟総鎮守古町神明宮へ日本フードリンクグループ合同で初詣に行ってきました。

今年、2024年の干支（えと）は、一般的には「辰」（たつ）と言われることが多いですが、正確に言うと「甲辰（きのえ・たつ）」となるそうです。このような干支の組み合わせは全部で60種類あり、60種類の中でも順番があって、その中で41番目が「甲辰」にあたります。

前回の「甲辰」は1964年、日本は高度経済成長期の真っ只中であり「東京オリンピック開催」「東海道新幹線開通」「王貞治選手55号ホームラン日本記録」などとても華々しい年でした。



「甲辰」は、暦のうえで「春の日差しが、あまねく成長を助く年」（春の暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年）になるとされているそうです。

皆様におかれましても、よい年になるよう祈念しております。



日本フードリンクグループ 冬の安全運転講習開催



昨年11月22日、毎年恒例の日本フードリンク全配送員を対象とした「冬の安全運転講習」を開催致しました。

以下、主な講習内容です

- ・改めて確認しよう「信号の意味」
- ・歩行者の多い地域での運転について
- ・交通安全に関する新潟県の不名誉な記録
- ・雪道の安全運転について など

講習の中で、「黄色信号の意味は ×注意しながら進んでもよい、ではなく○止まれ」であること、又、「トラックなどをはじめとした配送車両は一般車両に比べ幅や死角が大きく異なる為、歩行者が多い住宅街などを走行する際は徐行に近い運転操作を行い歩行者保護に努めること」更に「新潟県は車両の横断歩道手前での減速義務・停止義務履行の割合が全国最下位となっている現状も踏まえ義務履行を徹底すること」などを確認しました。

最後に雪道での交通安全に関するビデオを鑑賞し、事故防止に備えました。全国的にも積雪時の交通事故は大変多くなっておりますので、グループ配送員一丸となって冬の安全運転に努めて参ります。



「いつかどこかで役に立つ！…はず」 の第85回目

サブタイトル
「厨房作業中に地震が起きたら…。の巻」

設備事業部
大伍 宏昭

このたびの令和6年能登半島地震により被災された皆様に謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。新潟県内においても住宅被害等が発生している状況にございますが、一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

 地震で大きく揺れた場合にどんなことに注意すればいいの？

 厨房には背の高い物、重い物、熱を持つ物など様々な設備があります。一般的な地震時の注意に加え、厨房内での危険な箇所も認識しておきましょう。耐震金具等が打たれていない厨房が多くあります。ご注意ください。

＜スチームコンベクションオーブン(スチコン)＞

架台には固定されて載っていますが、架台が床に金具等で固定されていない場合、重心が上部にあるため他の機器に比べ倒れやすくなっています。大きく揺れた場合は正面から離れましょう。本体はかなりの重量があり、10段タイプで約180～200kgあります。



＜ガステーブル・ガスレンジ＞

背が低い機器ですので倒れることはほぼないかと思われませんが、加熱調理中の鍋やフライパンが危険です。大きく揺れた場合は機器から離れ、揺れが収まるのを待ってから火を消しましょう。



＜フライヤー＞

油槽の構造上(手前が斜めになっている)、正面に飛散することが多いです。調理中の油は高温ですので十分ご注意ください。なお、検証によると飛散した油で延焼する危険性は低いとされていますので落ち着いて行動しましょう。



東京消防庁「地震動による飲食店等におけるフライヤー挙動の検証」より一部抜粋し要約
・ガスフライヤー及び他のガス機器などは震度5相当以上でマイコンメーターの安全装置が作動しガスは止まるが、フライヤーの油は震度4相当の揺れであっても飛散する場合がある。しかし、飛散した調理油はガスコンロ等の炎に継続して接炎しなければ着火せず、他の可燃物に延焼拡大する危険性は低いと考えられる。

＜温冷配膳車＞

このたびの地震の際、新潟市内で2件倒れる事案がありました。大きな揺れの際は配膳車から離れてください。また、揺れで不意に動き出さないよう、一時的な移動の際もストッパーを確実にかけましょう。



その他、食品庫・備品庫では重い物ほど下段に収納すると棚の重心が下がるので倒れにくくなります。使用頻度が低い物を棚の最上段に収納することが多く見受けられます。軽い物であればそこまで心配はありませんが、重い物は高い位置から落ちて来ると大きな事故につながります。

それでは、また次回

新年あけましておめでとうございます

旧年中のご愛顧を感謝申し上げますとともに
皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます
本年も宜しくお願い申し上げます



株式会社ライフプロモート
代表取締役 津島 章彦
従業員一同

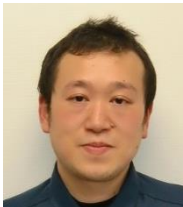


New Face



新入社員をご紹介します！

昨年11月～2024年1月にかけて、ライフプロモートに正社員6名が入社しましたので、この場をお借りしてご紹介します。この機会にスタッフの顔と名前を覚えていただければ幸いです。



あけたがわ まさき
明田川 雅樹

所属：物流部 商品管理課
(2023年11月27日入社)

入社間もなく、不慣れな事も多いですが、商品を間違いなく仕分けするよう心掛けています。息子が3人いるので、休日はもっぱら息子たちとゲームをして過ごしています。



やまざき まや
山崎 麻也

所属：物流部 商品管理課
(2023年12月1日入社)

商品管理課で荷受け業務を担当しております。前職は製品検査の仕事だったので、未経験の業務のため覚えることが多いですが、会社のお役に立てよう頑張ります。



ふるまや さとる
古厩 悟

所属：営業部 特販課
(2023年12月21日入社)

前職では観光土産品の卸売り営業に従事しておりました。今までの経験が活かせる事、初めての事がありますが、経験を積み早く戦力になるよう精一杯努めます。



さかた かずお
坂田 和雄

所属：物流部 商品管理課
(2023年12月21日入社)

前職でも物流の仕事に従事しておりました。日々学ぶことも多く、皆様についていくのに精一杯ですが、早く会社に貢献できるよう努めて参ります。宜しくお願い致します。



のぐち りょう
野口 翔

所属：給食受託部 日和山小学校給食室
(2024年1月5日入社)

前職も学校給食調理の仕事をしていました。これまでの経験を活かし、子供たちに喜んでもらえる給食を提供したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



おぐま あきこ
小熊 亜紀子

所属：営業部 営業課 (2024年1月9日入社)

前職では総務経理等の管理部門や給食施設の受託営業等を行って参りました。食材卸業の営業経験は初めてですが、一日でも早く会社に貢献できる人材となることが目標です。

● アグリライフ 生産部より

新型スマート直進アシスト付きトラクターが仲間入りしました。

免許を取得したばかりでも簡単に真っ直ぐ走れる様にサポートしてくれます。

特に畑の畝立て（うねたて）作業は真っ直ぐな畝が求められるため運転者の負担軽減効果が高いです。



（参考）畝立ての様子

GPS センサー搭載



スマート技術を使った生産性の高い農業を目指してこれからも取り組んで行きます。

TGL 車を取り巻く法改正について

日本フードリンクグループでは現在約 40 台の配送車両が活躍中です。この中の 10 台程の車両は後部に荷積み下ろし用の昇降機「テールゲートリフター（TGL）」を装備している TGL 車となっています。



この度この TGL 車を取り巻く法律改正がなされ、令和 5 年 11 月 1 日に同車両で作業する際のヘルメット着用が義務化、続く令和 6 年 2 月 1 日には配送員の特別講習受講が義務化となり、グループ内ではヘルメットの配備と配送員に対する特別講習の実施をそれぞれ終えたところとなっております。

特別講習の講師役として社外講習を受講してきた水嶋氏は「TGL の操作方法を法的に理解してグループの配送員に伝えられたことは安全衛生上とても大きな進歩となりました」と話していました。

筆者も TGL 車で配送に出ることがあり最初は違和感のあったヘルメットの着用が、今ではゲート上の作業の安心感が違うと感じて手放せなくなっています。



車両関連法の改正は対応に労力が掛かることが多いですが、しっかり遵守していくことで労働環境を整備していきたいと考えております。



広報誌ふーどりんく 【発行日】 令和 6 年 1 月 1 日

・編集発行◆株式会社 日本フードリンク 本部編集委員会 ・所在地◆〒950-0801 新潟市東区津島屋 6-99-1
・電話◆025(282)7023 ・FAX◆025(282)7024 ・URL◆<https://www.j-foodrink.co.jp/>